



★羅針盤 No.90

※秋の日差しが強くなって来ましたが、猛暑の街中や広場では熱中症が心配な日が続きました。これからは快適な気候で、なにか体を動かしたくなる季節です。
 ※身の回りにはプラスチック製品があふれていますが、新聞に微小プラゴミについての記事が出ていました。陸域に捨てられたプラスチック(ペットボトルやレジ袋、プラ素材の衣服から洗濯で流れ出る繊維も多い)が雨で流され、川を経て海に出ると波や紫外線で細かく砕かれ、5ミリ以下のマイクロプラスチック(MP)となり、世界中の海で検出されているとのこと。MPは、海底に堆積しているPCBを吸着しやすく、それを魚介類が誤って摂食し、食物連鎖で人間に悪影響が出る恐れがあると指摘されていました。2050年迄に海中のプラスチック量が「世界中の魚の重量を越える」と警告も出されていて、今年の主要7カ国環境相会合では「地球規模の脅威だ」と訴えました。ペットボトル1本でも意識して処理しましょう。
 ※東港金属株式会社は非鉄・スラップの買取り、産業廃棄物処理を“いつでも”お受け致します。ヤードも広くなりました。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

営業部 Y の考察



★羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの9月予測

- 鉄スクラップ** → 考察) 東京製鉄宇都宮工場特級価格28,000円/トンでスタートし、国際価格上昇により国内電炉メーカが上げた為、最終的には、32,500円/トンまで上がりました。9月に関しては、中国産のピレット価格上昇・鉄鉱石、原料炭価格上昇及び鋼材の価格の引き上げから見ても、まだまだ上がると思われます。
- 銅** → 考察) 8月は2014年10月以来約2年10か月ぶりにLME6,800ドル/トンを突破するなど高騰しました。最終の国内銅建値770,000円/トン。最終週で20,000円/トンの上げ余地があるため、9月は月初から上昇すると思われます。
- アルミ** → 考察) LME価格が、2014年8月以来の高値2,114ドル/トンに近づく勢いで上昇。最終的には2,113ドル台/トン。上物・裾物共に上昇しました。9月に関しては、需要も増え、円安に振れているため上がると思われます。
- プラスチック** → 考察) 世界最大の再生プラスチック原料の需要国である中国が、2017年末までに輸入を停止することをWTO(世界貿易機関)へ通告。これまでは、低品位のプラスチックが有価売却できなくなりサーマルリサイクル行きましたが、今回の通告により高品位のプラスチックの売却も厳しくなってきました。廃プラは、マテリアルからサーマルリサイクルへの移行せざるを得なくなっています。産廃業者としては、どこで切り替えるかが問題でしょう。

8月予測の自己評価
 鉄スクラップ ○ アルミ ×
 銅 ○ プラスチック ○



「私のあゆみ」 (第4回)

★羅針盤 水銀廃棄物の適正な管理のために

水銀は様々な排出源から様々な形態で環境に排出され、分解されずに全世界を循環しています。人への毒性が強く、特に発達途上の神経系に有害です。
 水銀による健康被害や環境破壊を繰り返さないために、水銀の人為的な排出を削減し、地球的規模の水銀汚染の防止を目指し、2013年10月に「水銀に関する水俣条約」が採択されました。
 2017年10月1日廃棄物処理法施行令等の一部改正が行われます。
 水銀廃棄物については環境上適性な方法で管理することとなり、金属水銀及び水銀含有物を、廃棄物として処分する際の環境上適正な処理方法が取りまとめられました。水銀廃棄物の分類(産業廃棄物)として、新たに「廃水銀等、水銀含有ばいじん等、水銀使用製品産業廃棄物」が定義され、施行令等は一部2016年4月1日(施行済)と、2017年(本年)10月1日に段階的に施行されます。水銀使用製品には、一次電池、蛍光灯、HIDランプ、気圧計、水銀体温計、さらには農薬、顔料等々身近なものが多くありますが、この10月1日の施行によりそれらを保管、収集・運搬、処分・再生する場合には、以下の新たな措置が必要となりますので、ご注意ください。

9月に入り8月とは打って変わって涼しくなりましたが、昼夜で温度差がありますから体調管理に気をつけましょう。
 さて、今回は大学時代のゼミ合宿での思い出をご紹介します。滋賀県、富山県、兵庫県、静岡県と様々な地域合宿に参加しました。その中で特に印象深かったのは沖縄での合宿でした。
 3年生の夏、沖縄合宿に参加し、1週間と2日の期間で石垣島と与那国島、本島を訪問しました。合宿の目的は、ゼミの参加者それぞれが興味を持っている社会問題を現地の学生と発表し合う事でしたが、合間には現地の観光もできました。
 まず石垣島や与那国島には3日間程滞在しました。どちらの島も海や木々に囲まれて、日差しも心地よかったです。島の方々も、島に誇りを持っていて沖縄の歴史や島の生活の様子などを話してくれました。石垣島では役所で現地の政策会議や、TVドラマのDr.コトーで撮影された診療所の見学もできました。与那国島では海を眺めたり、現地の方とお話する事も出来ました。ただ、遠望できると聞いていた台湾を見る事が出来なかったのは今でも心残りです。
 本島では、琉球大学や沖縄国際大学での合同ゼミに参加したり、国際通りでの買い物や美ら海水族館、米軍基地、自衛隊の駐屯地を見学することが出来ました。
 普天間基地も訪問しました。基地は約480ヘクタール(4,800,000㎡)東京ドーム約103個分という広大な敷地で、宜野湾市の約25%を占めていることに驚きました。また、その地域だけがアメリカの文化圏であると感じました。基地近辺では辺野古住民が普天間から辺野古への移設に反対の運動が行われており、資料館では反対運動の歴史展示がされていました。
 そして、日本の大学教授と米軍の代表者による米軍基地についての意見の食い違いについて議論する場を傍聴する機会もありました。詳細は忘れましたが、言葉のとらえ方の違いは日常の討論や喧嘩では其々「ごめんなさい」で解決する事も出来ますが、ここでは国を背負っての意見交換の場でしたから、どちらの代表も大変な立場だと感じました。合同ゼミでは、普段のゼミでは気づかなかった点がわかったし、沖縄の学生とお話できて良かったです。また、どの基地も広大でした。一つの基地でも人によって考え方が違って、やはり現地へ訪れて本当はどうかを学ぶって大事だなと思いました。そして、自衛隊の駐屯地では隊員の方が昼食を食べる時間が短かったことに驚きました。(1時間の休憩時間を有意義に使えるようにするためらしい)
 この合宿から、これまで外から見ていた沖縄の領土問題を沖縄県民の立場からも考える経験をしました。沖縄については、小学5年生のときは運動会でエイサー節を踊りましたし、高校の修学旅行が沖縄。そしてこのゼミ参加と、沢山の思い出があります。
 私の出身地ではないですが、沖縄の文化や自然がこのまま守られるといいです。刺激的な約1週間余でした！ (営業部 若松いさ子)

業の許可証 (行政により対応が異なるので確認が必要)	取り扱う廃棄物の種類に「水銀使用製品産業廃棄物」又は「水銀含有ばいじん等」が含まれることが必要 例(東京都の対応) 産業廃棄物処理業者であって水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を引き続き取扱う場合、H29年7月18日からH34年9月30日までは変更届出を提出していただき、新許可証を交付します。
委託契約書	委託する廃棄物の種類に「水銀使用製品産業廃棄物」又は「水銀含有ばいじん等」が含まれることを明記すること
マニフェスト	産業廃棄物の種類欄に「水銀使用製品産業廃棄物」又は「水銀含有ばいじん等」が含まれること、又その数量を記載すること
廃棄物保管場所の掲示板	産業廃棄物の種類欄に「水銀使用製品産業廃棄物」又は「水銀含有ばいじん等」が含まれること、又その数量を記載すること
帳簿	「水銀使用製品産業廃棄物」又は「水銀含有ばいじん等」に係るものであることを明記すること

詳細につきましては下記環境省のHPをご確認ください

参考資料:
 環境省HP 水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等への対応他
<http://www.env.go.jp/recycle/waste/mercury-disposal/>